

研究課題名：

日本における HIV 感染症の動向把握に関する研究

研究の目的と方法：

HIV 感染後の早期治療・早期診断は感染者本人のエイズ発症を防ぐだけでなく、社会全体においても新たな感染の機会を減少させることが報告されています。その一方で HIV は感染してからエイズを発症するまでに 5 年から 10 年の無症候期があるため、感染しても検査を受けなければ診断に結び付くことはありません。実際に日本国内では毎年新たに 1,000 人前後が HIV 陽性と診断されていますが、このうちの約 3 割はエイズ発症により初めて HIV の診断を受けています。すなわち HIV 感染後早期に診断に結び付いている人は少ないことが予想されます。

本研究では保健所等が実施する HIV 検査を受検し、HIV 陽性が判明した方の余った血液検体を用いて HIV に対する抗体の種類・量を解析します。これにより早期診断率、未診断者数等を推定することが可能になり、日本国内の詳細な HIV 発生状況の把握に繋がることが期待されます。研究成果は学会や研究論文として公表します。その際も個人が特定できるような情報が公開されることは一切ありません。本研究は国立感染症研究所、人を対象とする生命科学・医学研究倫理審査委員会の承認を受けています。

対象となる方：

2020 年 1 月以降、東京都、大阪府、福岡県内で保健所等が実施する無料匿名 HIV 検査を受診し、HIV 陽性が判明した方

※保健所での HIV 検査結果が陰性もしくは判定保留であった方、また検査結果に関わらず採血時に疫学調査等への参加拒否の意向を示された方は研究の対象に含まれません。

※検体から個人を特定することができませんので、個別の検体の解析結果の開示を求められてもご希望に沿うことができません。

研究に利用する試料・情報：

HIV 無料匿名検査で採血された血液検体の残余、受検した自治体名

共同研究実施機関：

国立感染症研究所、東京都健康安全研究センター、独立行政法人大阪健康安全基盤研究所、福岡市保健環境研究所、福岡県保健環境研究所、北九州市保健環境研究所

問合せ先：

本研究に関するご質問、不安な点等がございましたらご連絡ください。

〒162-8640 東京都新宿区戸山 1-23-1

国立感染症研究所エイズ研究センター 松岡佐織（研究代表者）

電話（代表） 03-5285-1111